

2007年度 関数環研究集会

下記の要領で、2007年度の関数環研究集会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

世話人：高木 啓行 (信州大学 理学部)

E-mail: takagi@math.shinshu-u.ac.jp

記

日時：2007年11月26日(月) 15:00 ~ 27日(火) 17:30

会場：信州大学 理学部 A棟 1階 多目的ホール

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

プログラム

11月26日(月)

[1] 15:00 ~ 15:30 飯田 安保 (岩手医科大学 共通教育センター)
Nevanlinna 型空間における因数分解定理について

[2] 15:40 ~ 16:10 川村 一宏 (筑波大学 数理物質科学数学専攻)
代数的閉な連続関数環について

[3] 16:20 ~ 17:00 富山 淳 (都立大学 名誉教授)
Wavelet 作用素と位相力学系

17:30 ~ 懇親会 (詳細は後日お知らせします)

11月27日(火)

[4] 10:00 ~ 10:30 武村 吉光 (信州大学大学院 工学系研究科)
スラント Toeplitz 作用素のスペクトルについて

[5] 10:40 ~ 11:10 瀬戸 道生 (島根大学 総合理工学部)
Inner function の無限列と $H^2(\mathbb{D}^2)$ の部分加群に関する公式について

[6] 11:20 ~ 11:50 林 実樹廣 (北海道大学 理学研究院)
Riemann 面の Royden's resolution と simultaneous analytic continuation

- [7] 13 : 30 ~ 14 : 00 細川 卓也 (安東国立大学)
Norms and essential norms of weighted composition operators between the Bloch space and H^∞
- [8] 14 : 10 ~ 14 : 40 植木 誠一郎
Bargmann-Fock 空間の荷重合成作用素
- [9] 14 : 50 ~ 15 : 20 河邊 淳 (信州大学 工学部)
Riesz 空間の正則性による非加法的測度論の展開 : Alexandroff 定理
- [10] 15 : 40 ~ 16 : 10 本間 大 (新潟大学 自然科学研究科)
可換 Banach* 環の間のある種のスペクトル半径保存写像について
- [11] 16 : 20 ~ 16 : 50 新藤 瑠美 (新潟大学 自然科学研究科)
関数環の群における写像を
多元環としての同形写像に拡張できる条件について
- [12] 17 : 00 ~ 17 : 30 三浦 毅 (山形大学大学院 理工学研究科)
可換 Banach 環の可逆元全体とある種のノルム保存写像

講演者の都合などにより、プログラムが部分的に変更される場合があります。